

## 防災対策を検討する訓練

### ①自らがみんなと地図を使って防災対策を検討

まずは自分の住んでいる地域を見つめ直すところから始まります。参加者それぞれが思う、危険場所・避難場所・助ける人など災害時に関する情報を地図に落とし込みます。そうすると色んな情報が書き込まれた、自分達だけの地図が出来上がります。

どんな被害が予想されるか？

地域の構造は？

危険場所・注意する施設は？

被災したら頼る場所・施設は？

近所に助けが要る人は？

いざとなったら頼れる人は？

これらの情報を地図に書き込むことで、今住んでいる地域を見直します。この作業は、地域の防災力を確認することにも繋がります。

### ②災害に襲われたと仮定

**地震** 揺れや液状化、家屋の倒壊

**津波** 床上・床下浸水、家屋の流出

**台風** 水害に加え、建物の破損

**洪水** 床上・床下浸水、堤防の決壊

これらを地図に書き込むことで、地域に出るであろう被害状況をイメージすることが出来ます。

### ③被災後の被害を少なくする為に、みんなで考える。



地図に書き込むと、地図上に被害状況のイメージが広がります。被災後の被害を少なくするための方法を、参加者全員で考えます。これからの地域との関わりや、普段の生活の中での取り組み等を話し合しましょう。

この作業を通して、災害時に強い地域を作り、自分達専用の防災対策を作ることがDIGです。従来の避難訓練とは異なり、災害に強い地域を作ることにより、大変役立つ手法です。